

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 5年12月 20日

業所名 こぼんはうすさくら小田急相模原教室

保護者等数(児童数)12 回収数10 割合 83.3%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | わから ない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|---|--|----|---------------|-----|--|--|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 8 | 2 | | | 活動スペースがわけられていて活動しやすい | 児童発達支援と放課後デイサービスの活動部屋が別室になっており、今後も部屋分けをし活動に取り組み |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 7 | 1 | | 2 | 適切な人数が分からないのと今何人のスタッフの方がいるのか分かりません。配置数がしらないため適切です | 契約時に一日の定員はお伝えしておりますが、より具体的にイメージできるような説明を心がけます。 |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 5 | 1 | | 4 | 意識していませんでした。適切です | 室内環境についても情報提供に努めます。 |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか | 10 | | | | 専門的な視点からアドバイスいただいています。 | 各職員の資格や能力を活かし計画作成にあたり、支援を提供いたします。 |
| | 5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか | 7 | 2 | | 1 | たまに子供に合っていないと思うが先生が考えられたことなので、不満に思っていることはお伝えしてますし。 | 好みの活動・苦手な活動、年齢にあった活動、様々な観点がありますが、できるだけその日の集団に合わせた内容で活動が組み立てられるようにしてまいります。 |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会 | 1 | 2 | 2 | 5 | そういう活動の話は聞いたことがないので。 | 地域交流を含んだプログラムについて検討し実施してまいります。 |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 10 | | | | されています | 今後も個別支援計画書内容だけでなく、日々の支援の様子なども送迎時やノート、LINEを通してお伝え |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 10 | | | | 気になることは都度連絡を取り合え共有できています。 | 今後も日々情報共有してまいります。 |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 9 | 1 | | | 相談を聞いていただいた時はとてもホッとしました！！ノートにかいても回答はあまりない。ラインだと返答あり。されています | 面談やお会いできた際・連絡ノートやLINE、お電話の限られたスペースでのお返事になってしまうため、内容や文章量によっては、寄り添った内容での返答が出ない状況があった可能性があります。他の連絡手段を用いるなどして、伝達を今まで以上に工夫いたします。 |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | | 4 | 5 | 他の保護者の方との交流はありません。 | ご要望に合わせて開催など検討してまいります。 |
| 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 6 | | | 4 | 苦情の話は聞いてないですし、したこともないので、実際どのように対応されているのか分かりません。いつも子供に寄り添い環境の改善をしていただいています。 | 潜在的なご意見等もあるかと考えております。そういったことも想定しながら、対応できるよう体制を整えてまいります。 | |

| | | | | | | | | |
|-------|----|---|----|---|---|---|--|---|
| | 12 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 10 | | | | 連絡帳(ラインも)で連絡をとれています。 | 事業所で利用できるツールを用いて情報伝達やコミュニケーションをとってまいります。 |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | | 6 | LINEで来る写真にほっこりしています ごめんなさい。ホームページを見ておりませんでした。これをみて久しぶりにホームページをみたら、インスタがありました、そうパツとしないというか、多すぎてどうなんだろうと思いました。 発信いただいています。 | 情報に関してのニーズはご家庭によって様々であるため、ニーズの汲み取りにも重きを置きつつ、ご家庭に合わせた形での発信になるよう工夫いたします。 また、今回が開所後初めての公表となりますので、結果のご報告に取り組みます。 |
| | 14 | 個人情報に十分注意しているか | 8 | | | 2 | ○ | データのやり取り以外にも、書類や職員を介しての漏洩等起こらぬよう、研修を合わせて行い管理いたしま |
| 常時等の対 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 8 | 1 | | 1 | 防犯マニュアルは見た事が無い気がします。 されています。 | 各種マニュアルは教室内に掲示、設置しており、毎月防災・避難訓練や交通ルールを守る活動を行っているため、それと合わせて実施内容についても周知していきます。 |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われ | 7 | | | 3 | されています | 今後もないように工夫をし行ってまいります。 |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 8 | 1 | 1 | | 本人が説明が下手でよく分かりませんが、楽しいようです。家では漢字は放蕩に嫌がりお手あげですがこぼんではやるようです。 楽しみにしています。 | これからも楽しく安全な活動が継続していけるよう努めます。 |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 10 | | | | いつもありがとうございます！ 満足しています。 | ご家族やお子様とコミュニケーションをとり、様々な変化に対応し支援を構築できるようにします。 |

129

11

7

33

72%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 20日

事業所名 こぱんはうすさくら小田急相模原教室

| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|--|----|-----|--|--|
| 境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 7 | 0 | 児発と放デイの人数に大きな差がある場合は部屋を区別せずに振り分けるなど工夫している。 | |
| | 2 職員の配置数は適切である | 7 | 0 | 9月までは職員の人数が少ないように感じていたが10月より職員の数が増えた。 | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 7 | 0 | | |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | 1 | 日々の終礼で児童の療育支援振り返りを行いスタッフ全員で共通認識をもって取り組んでいる。 | まだしっかり取り組めてはいない部分もあるため、そこを重点的に改善していく。 |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげて | 3 | 4 | 1月オープンのため今回初めての取り組み | 初めてのアンケート実施のため今後生かしていく。必要に応じて自社アンケートも行っていく。 |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 3 | 4 | 2月オープンのため今回初めての取り組み | 初めてのアンケート実施のため今後生かしていく。必要に応じて自社アンケートも行っていく。 |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 2 | 5 | 適宜スーパーバイザーによる評価アドバイスは受けている。改善に繋げている。 | 職員と保護者の評価の二者関係がほとんどのため、外部からの評価を取り入れる仕組みを構築していく。 |
| | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 5 | 2 | 法令研修以外にも内部研修を行っている。 | 希望者がいるものの、外部研修への参加機会を作ることが人員的な面であまりできていないため、できるだけ機会が確保できる様努める。 |
| 適切な支援の提供 | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を | 7 | 0 | | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 4 | 3 | | 発達や成長、環境の変化等も踏まえて適宜アセスメントツールを使用し支援の手立てとして活用します。 |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | 0 | スタッフで話し合いプログラムを決めている。 | 今後は外出イベントなども企画し、教室内だけでなく出かけた先での活動や交流の機会を作っていく。 |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 7 | 0 | | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 7 | 0 | | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 7 | 0 | 児童の組み合わせをみながら集団活動を考えている。一日の流れの中で両方が自然にできるような活動計画をしている。 | それぞれの活動が単発ではなく、継続的に進むような活動についても作成していく。 |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | 0 | ホワイトボードで視覚化し、だれが見ても分かるようにし確認している。 | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 7 | 0 | | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|---|---|---|--|
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげ | 7 | 0 | | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 7 | 0 | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている | 7 | 0 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 7 | 0 | | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 7 | 0 | 引継ぎ時に先生・保護者から様子を聞いている。気になる話があると詳しく聞いている。心配な点については事前に情報共有している。 | それぞれのプライバシーにも配慮しながら情報共有をしていく。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | 5 | 2 | 現状受け入れなし。 | 受け入れ検討の際は体制を整えていく。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努 | 7 | 0 | 多機能型。 | 引き続き、児童発達支援から放課後等デイサービスに切り替え時、情報共有を行っていく。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | 5 | 2 | 事例なし。 | 事例が生じた際に情報提供がスムーズに行えるよう、日頃より情報整理・管理を行っていく。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 4 | 3 | 必要があった際、連絡調整しアドバイスをいただいている。 | 回数や頻度がまだ少ないため、積極的に研修参加をしていく。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機 | 4 | 3 | 地域イベントに出向いたことがある。児によるが学童利用時もある。 | 外出先での交流や、教室でのイベントを地域に開放したりと機会を設けていく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 6 | 1 | | 引き続き地域の連絡会に参加していく。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 7 | 0 | 合えてない人もいるが心配りしている。 | ご家庭の状況、お気持ちに沿えるよう、日頃よりお子様の様子について共有し、話しやすい雰囲気づくりに努める。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 5 | 2 | 事業所内支援等、ご案内をしている。 | まだまだ回数的には少ないため、今後積極的に行っていきたい。 |
| 保護者 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 7 | 0 | | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 7 | 0 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 2 | 5 | 事例なし。 | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|---|---|
| への説明責任等 | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 7 | 0 | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 6 | 1 | 適宜インスタグラムにて子供たちの活動の様子を発信している。 | 様々な情報ツールを用いて発信に努めていく。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 7 | 0 | 不十分な点もあるので気を付ける。 | 注意が不足している部分はマニュアル化して落とすことがないようにする。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をして | 7 | 0 | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 2 | 5 | 事例なし。 | 父母の会の実施について、ご家庭のご意向を踏まえ開催を検討していく。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 7 | 0 | | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | 1 | 災害時にとる行動の話や練習は出来ている。活動の際に実際に非常災害が起きた場合の姿勢の確認するなど訓練を行っている。 | 実際の避難場所まで避難をする訓練ができていないため、来年度中に実際の場所まで向かう訓練の機会を設ける。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 7 | 0 | 年間計画に沿って研修を行っている。 | 内部研修だけでなく、外部研修の参加機会も設けていく。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス | 7 | 0 | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされてい | 2 | 5 | 事例なし。対象児なし。 | 必要があった際に対応していく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 6 | 1 | | 今後も朝礼・終礼時にヒヤリハットの確認をし、共通認識をもって運用していく。 |